

文化事業調査結果 一覧

資料⑦

今後の取組…A:事業費を増加したもの B:事業費は増加しないが、内容を充実するもの C:昨年度とおおむね同様の内容で開催するもの D:事業費を削減したもの E:廃止したもの
※事業費は決算額であり、平成30年度の事業予算が前年度と比して増加している場合でも、当初予算ベースで増額されていない場合は拡大としない。

基本施策	No.	事業名	担当課	H29		今後の取組	左記の理由	H30	
				事業内容	事業費			昨年度からの変更点	事業予算
① 協働による文化活動の推進	1	草津市美術展覧会	生涯学習課	日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の6部門による公募型の美術展覧会を実施した。 会期初日には、オープニングコンサートを開催。	2,077千円	C	出品者、来場者数が減少傾向にあり、高齢化が進んでいるため改善を行う必要があるが、多くの市民に親しんでいただいている秋の恒例行事となっているため、継続して実施する。	草津市文化振興審議会にて、検証を行い、今後の方向性等について検討を行う。	2,041千円
	2	第33回草津市民音楽祭	文化ホール	草津市を拠点に活動する公募による音楽団体の発表、交流、研鑽の場として、公募による実行委員会を組織し、運営を行った。吹奏楽、合唱、ピアノ、ジャズ等多様な分野の参加があった。	282千円	C	市内の音楽団体の発表の場（目標）となっており、無料で楽しめる音楽会として、定着している。	実行委員会において検討する。	470千円
	3	第2回クレアプラスフェスティバル	文化ホール	市内の中学校、高校、大学、一般バンドが一堂に会するプラスの祭典。実行委員会を組織し、企画を行う。合同演奏を通じて、互いに交流し、客席とステージが一体になる音楽祭。プラスフェスティバルの関連事業として、アマカホールで青少年アンサンブルコンサートを開催した。	553千円	A	市内の全ての中学校が参加できるよう、ニーズや参加できない原因を探り、事業の拡大につなげる。	楽器の運搬費等を予算化することで、学校側の負担を減らし、市内全中学校の参加を促すよう努める。	1,150千円
	4	第56回草津市民文化祭	文化ホール	文化協会に対し、舞台演出等をアドバイスし、市民の文化活動を支援した。芸能（謡曲、邦楽、民謡、マジック等）、展示発表（華道、俳句、写真、トールペイント、ガラスアート）など様々なジャンルの文化団体が日頃の活動発表を行った。	485千円	C	引き続き、文化協会の主体性を尊重しつつ、事業の実施をサポートする。	実行委員会において検討する。	720千円
	5	第26回草津市合唱祭	文化ホール	草津市合唱連盟と市民公募の実行委員会による合唱祭を開催。ゲストに京都木曜会を迎え、地元合唱団との交流を図った。	263千円	B	多くの来場があり、会場のキャパシティを超えているため、会場の変更を検討する。	長年にわたりアマカホールで開催してきたが、会場が手狭になってきたため、クレアホールでの開催を予定。	470千円
	6	くさつ図書館まつり	図書館	市民による実行委員会と図書館を事務局とした協働事業。本のリサイクル市、手作り遊び・工作、本のカバー貼体験、おはなし会、移動図書館での貸出などを行った。	30千円	C	市民実行委員会との協働事業であり、広く市民に図書館利用を誘う契機となっていることから継続とする。	企画・運営に関わる実行委員の公募を新たに広く市民全般から行う。	30千円
	7	アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業（未来創造セミナー等開催費）	UDCBK	市民の方が関心を持つテーマを参考に一年間のテーマ設定を行う「未来創造セミナー」を年間10回実施。その中で、3回シリーズで「草津三港」を行うなど、文化を取り扱ったセミナーを計6回開催した。	79千円	A	昨年度は「文化を知る」であったが、今年度は「文化を創る」をテーマに文化財保護課、生涯学習課等と連携し、未来創造セミナーに留まらず、アーバンデザインスクール等についても文化関係を取り扱う。	昨年度、未来創造セミナーで取り上げた「草津三港」が好評であったこと、また、芦浦観音寺やサンヤレ踊りが日本遺産に認定されたことから、今年度は未来創造セミナーで文化を取り上げるだけでなく、アーバンデザインスクール前期において「歩いて巡る地域の魅力の伝え方」を実施する予定。	1,327千円
	8	立命館びわこ講座	生涯学習課	・2017年度立命館びわこ講座（共催事業） ・テーマ：近江を学ぶ、草津を識る ・全5回（土曜日10:00～12:00）	150千円	C	「地域特性や文化を知る企画がよい」「文化都市として、市民から誇りをもてるこのような学習機会を継続してほしい」といった声があり、地域学を通して、ふるさと意識の醸成と地域を支える人づくりへのきっかけとなっているため。	今年度は、文化振興条例と計画がスタートする年であるため、文化をキーワードにした内容で実施するとともに、計画の概要について周知する予定。	150千円
② 文化施設の活用および充実	9	文化ホール管理運営業務	生涯学習課	指定管理期間：平成29年度～平成31年度 指定管理者と定期的に協議を行い、協定に基づいた適切な管理運営がなされているか点検、確認を行った。	115,667千円	C	平成30年3月に策定した草津市文化振興計画に基づく運営が行えるよう引き続き取り組む。	新しい指定管理（平成32年度～）に向けて、仕様書の内容を検討する。	110,119千円
	10	アウトリーチ事業	文化ホール	大路幼稚園、草津第二小学校、老上西小学校等に、アーティストを派遣する他、これまで文化ホールで実施してきたプログラムのアウトリーチを行った。	884千円	C	アウトリーチは、文化活動を促進する有効な手法であることから継続して実施する。	アウトリーチから「心の劇場」（インリーチ）への参加につなげるとともに、昨年度、老上西学区で作成した音楽物語の普及啓発を行う。	884千円
	11	赤ちゃんと一緒にサテライト ラジオロビーコンサート	文化ホール	ホールの開かれた事業として 赤ちゃんから大人まで楽しめるラジオロビーコンサートを開催。FMくさつで人気番組のスペシャルプログラムをサテライトスタジオから放送。赤ちゃんと一緒に楽しめるオリジナルショーのほか地元のサークル等が出演。	818千円	A	ランチタイムに行うコンサートとして、地域の幅広い年齢層に人気があることから、ファンの獲得と交流を図るため、誰もが参加できる企画として事業を拡大する。	赤ちゃん対象ではなく、懐かしい曲から現代曲まで、家族で楽しめるコンサートとして開催。コンサート終了後は、市民パーソナリティ養成およびアナウンス講座を開校。	1,510千円
	12	（仮称）市民総合交流センターへの展示機能付加	生涯学習課	（仮称）市民総合交流センターの完成後、同施設で草津市美術展覧会が実施できるよう、仕様について関係課に要望を行った。	0	C	設計に反映できるよう、引き続き要望を行う。	特になし	0
③	13	創作の場づくり	生涯学習課	クレアホールの一室にある「つどいの広場」の機能が、平成30年4月に南草津にある「ミナクサひろば」に集約されることに伴い、空きスペースの活用方法を検討した。	0	B	空きスペースの貸館を開始するだけでなく、より効果的な活用方法がないか、市民の意見を取り入れるなどして検討する。	空きスペースを「活動室」として貸館を開始するとともに、より効果的な活用方法について検討する。	0
	14	アートセンターニュース	文化ホール	-	-	-	新規	アートセンターニュースとして毎月発行。事業実施予定からアマカホール、クレアホール両館の貸館情報までを掲載。市内公共施設、県内文化ホール等に配架。	300千円

情報の収集および発信の充実	15	草津市文化振興フォーラム	生涯学習課	-	-	-	新規	・基調講演：中川 幾郎氏（帝塚山大学名誉教授） ・事例報告：衛 紀生氏（可児市文化創造センター館長兼劇場総監督） ・トークセッション ・草津歌劇団等によるオープニング、エンディングイベント	717千円
	16	文化振興パンフレット	生涯学習課	-	-	-	新規	9月頃に28,000部作成し、秋に開催する市の主要事業や、文化ホール等で開催される公演等で配布する。	301千円
	17	草津宿ブックレット製作事業	草津宿街道交流館	-	-	-	新規	草津宿ブックレット第一弾として、「宿場町 草津」をテーマとしたブックレットを作成する。	350千円
	18	立命館大学インターンシップ	文化ホール	コミュニティラジオのFMくさつによるサテライトスタジオの番組制作を通じた市民パーソナリティの育成、ラジオ番組製作体験の連携授業を行った。	0	C	大学生ならではの発想や情報発信により、普段ホールに足を運ばない層やリスナーのファン獲得となっている。	平成30年度から実施するFMくさつのパーソナリティによるアナウンス講座やワークショップに参加してもらい、市民パーソナリティの養成を行う。	0
④文化活動を担う人材の育成および活用	19	クリエイターズマーケット	生涯学習課	展示／販売／ワークショップの形態で、県内のアーティストによる出店を行った。	アートフェスタに含む	B	荒天であったものの、来場者や出店者に好評を得たため、アートフェスタとの連携を図りつつ、より内容を充実させ開催する。	今後、実行委員会にて検討していく。	アートフェスタに含む
	20	アートセンター	文化ホール	アウトリーチの他、市主催事業や地域のイベントにおける出演者のコーディネート、プロデュース、アドバイザー業務等を行う。	884千円	B	アウトリーチやコーディネート等の潜在的なニーズがあると思われるので、利用の拡大につながる仕組みを検討する。	アートセンターの広報を拡大し、利用者の拡大につなげる。	884千円
	21	青花紙担い手セミナー	草津宿街道交流館	-	-	-	新規	市内の青花に関わる事業者や個人で構成された「草津あおばな会」とも連携し、アオバナ栽培コース・青花紙製作コースの2コースに分けてアオバナの栽培から青花紙生産までの技術を学ぶセミナーを開催する。実技だけでなく、専門家による講座も開催する。	82千円
	22	Jazz Festival in AMICA	文化ホール	市民企画提案事業。ジャズをツールとしたまちづくりコンサートの開催。ウェルカムコンサートからホールでビッグバンドを中心に、スタンダードジャズなど幅広い年齢層が楽しめるジャズコンサートを開催。今年度は立命館大学と天理大学の学生が中心となり実施した。	300千円	B	社会人と学生のコラボなど普段交流のない世代間交流が図られ、多くのジャズファンを楽しませる企画となっており、ステップアップを図るため、会場の変更を行う。	規模を拡大し、クレアホールで開催。草津在住のプロを中心にワークショップを開催するとともに、市民と学生によるスペシャルバンドを結成する。	300千円
	23	くれあ座	文化ホール	県の支援事業。地元のプロの実演家を講師に、尺八、箏、日本舞踊、三味線の体験を通して、礼儀作法や立ち振る舞い、古くから大切にされてきた「感性」「心」を身に着けるワークショップを実施。古典芸能の祭典「くれあ座」出演に向けて稽古を行い、公演を実施。	0	D	大舞台での発表は隔年で実施するため、次年度は規模を縮小する。	ワークショップと成果発表会を開催する。	0
	(2)	〔再掲〕第33回草津市民音楽祭	文化ホール	草津市を拠点に活動する公募による音楽団体の発表、交流、研鑽の場として、公募による実行委員会を組織し、運営を行った。吹奏楽、合唱、ピアノ、ジャズ等多様な分野の参加があった。	282千円	C	市内の音楽団体の発表の場（目標）となっており、無料で楽しめる音楽会として、定着している。	実行委員会において検討する。	470千円
	(5)	〔再掲〕第26回草津市合唱祭	文化ホール	草津市合唱連盟と市民公募の実行委員会による合唱祭を開催。ゲストに京都木曜会を迎え、地元合唱団との交流を図った。	263千円	B	多くの来場があり、会場のキャパシティを超えているため、会場の変更を検討する。	長年にわたりアマカホールで開催してきたが、会場が手狭になってきたため、クレアホールでの開催を予定。	470千円
	(8)	〔再掲〕立命館びわこ講座	生涯学習課	・2017年度立命館びわこ講座（共催事業） ・テーマ：近江を学ぶ、草津を識る ・全5回（土曜日10:00～12:00）	150千円	C	「地域特性や文化を知る企画がよい」「文化都市として、市民から誇りのもてるこのような学習機会を継続してほしい」といった声があり、地域学を通して、ふるさと意識の醸成と地域を支える人づくりへのきっかけとなっているため。	今年度は、文化振興条例と計画がスタートする年であるため、文化をキーワードにした内容で実施するとともに、計画の概要について周知する予定。	150千円
	(18)	〔再掲〕立命館大学インターンシップ	文化ホール	コミュニティラジオのFMくさつによるサテライトスタジオの番組制作を通じた市民パーソナリティの育成、ラジオ番組製作体験の連携授業を行った。	0	C	大学生ならではの発想や情報発信により、普段ホールに足を運ばない層やリスナーのファン獲得となっている。	平成30年度から実施するFMくさつのパーソナリティによるアナウンス講座やワークショップに参加してもらい、市民パーソナリティの養成を行う。	0
	24	アートフェスタくさつ2018	生涯学習課	市内の文化団体を網羅する草津21世紀文化芸術推進協議会との協働で、市役所を中心に、幼児から小学生を対象としたアートワークショップを実施した。主な出店団体は、市内の文化団体の他、県立近代美術館、県立陶芸の森、miho museum、草津宿街道交流館、立命館大学学生サークル等	343千円	A	来場者数が年々増加しており、事業効果が高まっている。今後、市民の交流や、子どもが文化に触れる機会が増加するよう事業の拡大を検討する。	好評のアートワークショップを充実する他、同日開催となっているクリエイターズマーケット、星降る映画館等と相乗効果を発揮できるよう連携を図り、一日を通じてアートを体験できる事業とする。	1,304千円
25	市民創作ミュージカル	文化ホール	大阪音楽大学と連携し、総合舞台芸術の基礎を学べるアートスクールを開講し、草津歌劇団3期生養成アートスクールとして実施した。歌・ダンス・芝居を基礎から学び、ミュージカルショーの公演ほか地域イベントや舞台芸術鑑賞会等に参加。スクール終了後は、オーディションを実施し、次年度につなげた。	2,496千円	A	本年度は予科生として受講生を募集しており、次年度は本科生の募集を行う。	本科生を募集し、単独公演を開催する。	5,000千円	
26	ブックトークコンサート	文化ホール	オリジナルフィルム絵本「タナベサオリの世界」をプロデュース。草津市在住の絵本作家タナベサオリ書下ろし「おさんぼマッチ」をフィルム絵本にし、地元の劇団、草津ゆかりのアーティストの協力によりDVDの作成、上映会を行った。	740千円	D	対象者を絞り、文化ホールでこれまで作成してきた作品を活用するとともに、図書館と連携しながら事業を実施する。	平成30年より設置される活動室を拠点に、図書館と連携しながら読み聞かせ等を行う。	484千円	

⑤ 子どもおよび若者の文化活動の充実	27	子どもの本の教室	南草津図書館	子どもや大人を対象に本や読書に興味関心を持ってもらうことを目的に、「子どもの本の教室」を開催。タイで、子どもが好きな本に出会うための場所、絵本のひろばづくりをしている団体「マレットファン」を講師に迎え、絵本の開き読み、ワークショップを行った。	50千円	B	子どもたちが読書に関心を持ってもらう機会として有効であり、親子で参加することで家庭での読書環境を整える契機となっているため。	より関心を持ってもらえるテーマ設定（絵本作家・児童文学作家の講演とワークショップ）、参加しやすい日程、周知を行う。	50千円
	28	子ども読書講演会	図書館	絵本作家 サトシンさん自身のウクレレ演奏による軽快なリズムに合わせた絵本の読み聞かせを実施したり、会場から選ばれた子ども達が即興で物語を作っていく「おてて絵本」を披露した。	50千円	C	本や読書に興味をもってもらえる契機となっている事業であり、継続して行っていく。	児童文学作家かさいまりさん講演会予定(協力：この本大好きな会滋賀支部)	50千円
	29	教育プログラム事業	草津宿街道交流館	江戸時代のおもちゃ作り・アオバナでバンダナ染めなど、子ども向けのワークショップを開催した。また、選任読手を招いた競技かるた大会、落語家を講師とする落語体験などを行った。	66千円	B	個人向け教育プログラム「草津宿みちくさラボ」として拡充するため	個人向け教育プログラムに「草津宿みちくさラボ」と愛称をつけ、内容・回数ともさらに充実させる。また、子どもたちに繰り返し草津宿街道交流館・史跡草津宿本陣を訪れてもらうため、ポイントカードを新たに導入する。	25千円
	30	劇団四季 こころの劇場	文化ホール	市内の小学6年生を対象にした芸術鑑賞会として開催する劇団四季との共催事業「こころの劇場」では、「ガンバの大冒険」を2公演行い、市内7小学校の児童が鑑賞を行った。	509千円	A	子ども達に本物の芸術を鑑賞してもらう事業として劇団四季のミュージカルは、舞台芸術への関心を深め、豊かな感性を育てる手助けとなるため、より多くの小学校に参加してもらえるよう、積極的に周知する。	無料の送迎バスを手配することで、より多くの小学校に参加を呼びかける。	750千円
	31	草津シネマ塾	生涯学習課	NPO法人京都映画倶楽部へ委託し、草津の歴史文化、産業などを題材にシナリオを執筆する大人向けの「シナリオ講座」と、小学生が本物の機材を使用した映画撮影に携わる「キッズシネマ塾」を開催した。キッズシネマ塾は2日間にわたり開講し、草津川をテーマに撮影した。また、完成した映画の上映会を後日UDCBKで行った。	1,344千円	B	シナリオ講座で執筆されたシナリオや、キッズシネマ塾で作成された映画の活用が限定的であるため、上映会の会場や周知の方法など改善の余地があるから。	・キッズシネマ塾のテーマを年度ごとに検討 ・映画上映会の会場を検討（より集客できる会場で実施できないか）	1,344千円
	(3)	〔再掲〕第2回クリアプラスフェスティバル	文化ホール	市内の中学校、高校、大学、一般バンドが一堂に会するプラスの祭典。実行委員会を組織し、企画を行う。合同演奏を通じて、互いに交流し、客席とステージが一体になる音楽祭。プラスフェスティバルの関連事業として、アマカホールで青少年アンサンブルコンサートを開催した。	553千円	A	市内の全ての中学校が参加できるよう、ニーズや参加できない原因を探り、事業の拡大につなげる。	楽器の運搬費等を予算化する事で、学校側の負担を減らし、市内全中学校の参加を促すよう努める。	1,150千円
	(22)	〔再掲〕Jazz Festival in AMICA	文化ホール	市民企画提案事業。ジャズをツールとしたまちづくりコンサートの開催。ウェルカムコンサートからホールでビッグバンドを中心に、スタンダードジャズなど幅広い年齢層が楽しめるジャズコンサートを開催。今年度は立命館大学と天理大学の学生が中心となり実施した。	300千円	B	社会人と学生のコラボなど普段交流のない世代間交流が図られ、多くのジャズファンを楽しませる企画となっており、ステップアップを図るため、会場の変更を行う。	規模を拡大し、クリアホールで開催。草津在住のプロを中心にワークショップを開催するとともに、市民と学生によるスペシャルバンドを結成する。	300千円
(23)	〔再掲〕くれあ座	文化ホール	県の支援事業。地元のプロの実演家を講師に、尺八、箏、日本舞踊、三味線の体験を通して、礼儀作法や立ち振る舞い、古くから大切にされてきた「感性」「心」を身に着けるワークショップを実施。古典芸能の祭典「くれあ座」出演に向けて稽古を行い、公演を実施。	0	D	大舞台での発表は隔年で実施するため、次年度は規模を縮小する。	ワークショップと成果発表会を開催する。	0	
⑥ 高齢者、障害者等の文化活動の充実	32	文化教養講座	障害福祉課	障害者の家庭生活や地域生活に有用な訓練・趣味・文化活動・IT利用等に関する講座を企画・運営した。（絵手紙、陶芸、体操、生花、パソコン等）	1,157千円	C	障害者の社会参加・地域交流の促進のため必要な事業である。	講座内容の充実を図るため、実施講座および回数を見直しを行う。	1,003千円
	33	草津市国際交流協会運営費補助金	まちづくり協働課	姉妹都市等との交流や国際理解講座、国際交流イベントの開催等、市民に国際交流の機会を提供し、多文化共生に対する意識の向上を図る。	6,458千円	A	H30年度は、ポンティアック市との姉妹都市交流協定締結40周年を記念し、使節団を派遣するため。	左記事業に加え、草津市の姉妹都市であるポンティアック市（米国ミシガン州）との交流が40周年を迎えることから使節団を派遣し、ホームステイ事業を通してアメリカ社会の生活や文化に触れさらなる親交を深める事業を実施する。	6,855千円
	34	サマーフェスティバル	子育て相談センター	人形劇、うた、手遊びのイベントを行い、歌とリズムで親子の触れ合いを楽しむ	34千円	C	例年多くの参加者があり、親子交流の場の提供が子育てで不安の解消に繋がっていることから継続して実施する。	特になし（同様のイベントを実施予定）	50千円
	35	クリスマスコンサート	子育て相談センター	ミュージカル、うたのイベントを行い、歌とリズムで親子の触れ合いを楽しむ	42千円	C	例年多くの参加者があり、親子交流の場の提供が子育てで不安の解消に繋がっていることから継続して実施する。	特になし（同様のイベントを実施予定）	50千円
	(11)	〔再掲〕赤ちゃんと一緒にサテライト ラジオロビーコンサート	文化ホール	ホールの開かれた事業として 赤ちゃんから大人まで楽しめるラジオロビーコンサートを開催。FMくさつで人気番組のスペシャルプログラムをサテライトスタジオから放送。赤ちゃんと一緒に楽しめるオリジナルショーのほか地元のサークル等が出演。	818千円	A	ランチタイムに行うコンサートとして、地域の幅広い年齢層に人気があることから、ファンの獲得と交流を図るため、誰もが参加できる企画として事業を拡大する。	赤ちゃん対象ではなく、懐かしい曲から現代曲まで、家族で楽しめるコンサートとして開催。コンサート終了後は、市民パーソナリティ養成およびアナウンス講座を開校。	1,510千円
	(26)	〔再掲〕ブックトークコンサート	文化ホール	オリジナルフィルム絵本「タナベサオリの世界」をプロデュース。草津市在住の絵本作家タナベサオリ書下ろし「おさんぼマッチ」をフィルム絵本にし、地元の劇団、草津ゆかりのアーティストの協力によりDVDの作成、上映会を行った。	740千円	D	対象者を絞り、文化ホールでこれまで作成してきた作品を活用するとともに、図書館と連携しながら事業を実施する。	平成30年より設置される活動室を拠点に、図書館と連携しながら読み聞かせ等を行う。	484千円
	36	くさつビプリオバトル	学校政策推進課	一般、大学生は1人5分、小中学生は1人3分の持ち時間で参加者にお気に入りの本を紹介し、最も読みたい1冊を聴衆が投票する書評合戦。一般の部、大学生の部、英語の部、小中学校の部の4部門で競うもの。	40千円	C	事業開始5年が経過するが、3年目からは市内小中学校すべてから出場者があったり、それぞれの学校で校内でビプリオバトルを年間指導計画に位置付けたりする等、市内小中学校での定着が見られるため。	・英語の部に大学の留学生を含んだグローバルの部新設 ・H29から実施のUDCBKでの「毎日ビプリオ」を取り込む。 ・小中学生の部の投票方法を挙手制から記入制に変更 ・小中学生の部の開票時に教師によるビプリオバトルを実施	40千円

⑦ 学校等における文化活動の充実	37	草津市青少年美術展覧会	学校政策推進課	本市小・中学校から平面・立体・書写作品を、幼稚園や保育所などから平面・立体作品を草津市役所2階特大会議室で展示し、広く一般に公開した。また、推奨作品を草津市のホームページに「草津市青少年美術展推奨作品集」として掲載した。	351千円	C	55回続く草津市青少年美術展覧会は、草津市の子どもたちだけではなく、広く市民に認知され、継続への期待が大きいことから。	作品審査体制を見直し、効率的に審査を行えるようにする。	406千円
	38	巡回図書「ブックン」の配本	図書館	「環境と算数」、「滋賀県の作家」、「写真集と絵本」、「国語の教科書にでてくる本」等のセットを市内14小学校へ学期毎に巡回し、授業や学校図書館等で活用いただいている。	0	B	新しい貸出セットを増やすなどして、学校図書館活動の支援を充実させる。	各セットの本の入れ替えや新たな買い替え等を行う。	0
	39	出張ブックトーク	図書館	司書が学校へ出向き、一つのテーマでいろんなジャンルの本を紹介することで、子ども達の読書欲求の掘り起しと読書領域を広げる役割を果たしている。また本の紹介の仕方の参考として、児童・生徒達によるビブリオバトルにも役立っている。	0	B	子ども達の読書推進と学校図書館活動支援の一環として、市内全小・中学校へ出張ブックトークへ出向けるようさらに強化していきたい。	お休みや放課後等授業時間以外での開催や、司書の育成により、より多くの依頼に対応できるように改善した。	0
	40	博学連携事業	草津宿街道交流館	草津宿街道交流館、史跡草津宿本陣への学校単位での見学受け入れおよびそれに伴う事前の出前授業を各学校で行った。	0	B	学校見学が一部の学校に留まるため、対象の学校が広がるよう取り組む。	子ども向け事業「草津宿みちくさラボ ポイントカード」とも連携させ、子どもたちが草津宿街道交流館・史跡草津宿本陣を訪れるきっかけとして強化する。	0
	41	草津市青少年俳句大会	生涯学習課	草津市内小学校（14校）5、6年生および中学校（市立6校、私立1校）全学年を対象とし、投句用紙を配布して、1人につき一句投句してもらう。小・中合わせて100句程度を入賞作品とし、賞状を贈る。さらに、優秀作品については記念品を贈り、10月下旬に市役所1階ロビーに展示の場を設けて発表する。	252千円	C	学校を通じて投句を募集することで、多くの子どもたちからの応募があり、ふるさと意識の醸成や国語教育の充実につながっていることから継続して実施する。	特になし	280千円
	(10)	〔再掲〕アウトリーチ事業	文化ホール	大路幼稚園、草津第二小学校、老上西小学校等に、アーティストを派遣する他、これまで文化ホールで実施してきたプログラムのアウトリーチを行った。	884千円	C	アウトリーチは、文化活動を促進する有効な手法であることから継続して実施する。	アウトリーチから「心の劇場」（インリーチ）への参加につなげるとともに、昨年度、老上西学区で作成した音楽物語の普及啓発を行う。	884千円
⑧ 文化によるまちづくりの推進	42	草津宿場まつり	商工観光労政課	草津宿場まつり実行委員会への補助事業。時代行列、町衆熱演舞台、宿場町草津大市、行政啓発ブース、ものづくり横丁などの各種取組を実施した。	13,500千円	A	平成30年度で50回目の開催を迎えることから、記念事業の開催を検討する。	50回目の開催を記念し、前日祭を開催し、クレーホールで和装パフォーマンスコンテストおよび宿場まつりサミット、立木神社で草津能の夕べを行う。また、当日祭では、時代行列の主要役柄に宝塚歌劇団OGを起用するとともに、友好交流都市等によるパレードを行う。	15,000千円
	43	草津街あかり華あかり夢あかり	商工観光労政課	草津街あかり華あかり夢あかり実行委員会への補助事業。あかり銀河、あかりART展、陰影礼賛、トワイライトコンサートなどの各種取組を実施した。	3,300千円	C	秋の風物詩として定着しつつあるイベントで、普段とは違ったまちの景色を楽しみながら魅力を再発見し、愛着を持ってもらうことで地域の発展に繋げるため、継続して実施する。	今後、実行委員会で事業計画を検討していく。	3,300千円
	44	みんなdeつなご 草津まちイルミ	都市再生課	夜の草津を回遊していただくため、草津駅周辺の商業施設と協力し、まちなかをイルミネーションで彩るとともに、ソフトイベントとしてスタンプラリーを実施した。	2,000千円	B	イルミネーションの増設・新設による華やかさの強化、及びソフトイベントの拡充等を行うため。	イルミネーションの増設とスタンプラリーの拡充として、各商業施設内にある応募ボックスの周辺にフォトスポットを設置する。	2,000千円
	45	星降る映画館	都市再生課	草津川跡地公園de愛ひろばのイベントスペースを活用して、屋外映画館を実施した。児童を対象としてアニメ、一般向けに無声映画の2作を上映した。	1,307千円	C	昨年度が大変好評であり、草津川跡地公園を活用した事業として、継続してしていくことで、恒常的な賑わいの創出が図れるため。	アートフェスタくさつの一事業として実施。季節に合わせた装飾を行う他、パフォーマーによるショーを行うことで、より子ども、若者、子育て層に訴求できる内容とする。	1,307千円
	46	草津小市	都市再生課	宿場町の趣を残す路地を舞台にコンサートや、地元農家さんによる季節野菜やお米の販売、七輪焼きや甘酒ふるまいの飲食も楽しめ、琵琶湖の湖魚を使った佃煮やサンドを販売するマルシェや、しめ縄づくり、ガリ版印刷による年賀状づくりなどのワークショップを開催した。	512千円	C	昨年度が好評であり、本陣周辺エリアにおける賑わい創出に寄与するため。	特になし	500千円
	(32)	〔再掲〕文化教養講座	障害福祉課	障害者の家庭生活や地域生活に有用な訓練・趣味・文化活動・IT利用等に関する講座を企画・運営した。（絵手紙、陶芸、体操、生花、パソコン等）	1,157千円	C	障害者の社会参加・地域交流の促進のため必要な事業である。	講座内容の充実を図るため、実施講座および回数を見直しを行う。	1,003千円
	(34)	〔再掲〕サマーフェスティバル	子育て相談センター	人形劇、うた、手遊びのイベントを行い、歌とリズムで親子の触れ合いを楽しむ	34千円	C	例年多くの参加者があり、親子交流の場の提供が子育て不安の解消に繋がっていることから継続して実施する。	特になし（同様のイベントを実施予定）	50千円
	(35)	〔再掲〕クリスマスコンサート	子育て相談センター	ミュージカル、うたのイベントを行い、歌とリズムで親子の触れ合いを楽しむ	42千円	C	例年多くの参加者があり、親子交流の場の提供が子育て不安の解消に繋がっていることから継続して実施する。	特になし（同様のイベントを実施予定）	50千円
	47	みなくさま祭り	商工観光労政課	みなくさま祭り実行委員会への補助事業。立命館大学、企業・団体、地域、消防などのブースや、くさつビブリオバトルなどの各種取組を実施した。	2,300千円	C	地元企業、町内、立命館大学、行政、商工会議所などがそれぞれ知恵を出し合い、強い結束力をもって開催されており、これからの南草津のまちづくりの大きな力となるため継続して実施する。	今後、実行委員会で事業計画を検討していく。	2,300千円

⑨文化を通じた出会いおよび交流の創出	48	納涼まつり	商工観光労政課	草津納涼まつり実行委員会への補助事業。 廃材等を利用したアート作品を表彰するつくりものコンクールをはじめ、夜店、バザー、学生サークルによるパフォーマンス等を実施した。	650千円	C	情緒豊かなふるさとまつりとして、市民に憩いの場を提供するとともに、コミュニケーションの場としても活用されているため、継続して実施する。	今後、実行委員会で事業計画を検討していく。	650千円
	(7)	〔再掲〕アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業 (未来創造セミナー等開催費)	UDCBK	市民の方が関心を持つテーマを参考に一年間のテーマ設定を行う「未来創造セミナー」を年間10回実施。その中で、3回シリーズで「草津三港」を行うなど、文化を取り扱ったセミナーを計6回開催した。	79千円	A	昨年度は「文化を知る」であったが、今年度は「文化を創る」をテーマに文化財保護課、生涯学習課等と連携し、未来創造セミナーに留まらず、アーバンデザインスクール等についても文化関係を取り扱う。	昨年度、未来創造セミナーで取り上げた「草津三港」が好評であったこと、また、芦浦観音寺やサンヤレ踊りが日本遺産に認定されたことから、今年度は未来創造セミナーで文化を取り上げるだけでなく、アーバンデザインスクール前期において「歩いて巡る地域の魅力の伝え方」を実施する予定。	1,327千円
	(19)	〔再掲〕クリエイターズマーケット	生涯学習課	展示／販売／ワークショップの形態で、県内のアーティストによる出店を行った。	アートフェスタに含む	B	荒天であったものの、来場者や出店者に好評を得たため、アートフェスタとの連携を図りつつ、より内容を充実させ開催する。	今後、実行委員会にて検討していく。	アートフェスタに含む
	(24)	〔再掲〕アートフェスタくさつ2018	生涯学習課	市内の文化団体を網羅する草津21世紀文化芸術推進協議会との協働で、市役所を中心に、幼児から小学生を対象としたアートワークショップを実施した。主な出店団体は、市内の文化団体の他、県立近代美術館、県立陶芸の森、miho museum、草津宿街道交流館、立命館大学学生サークル等	343千円	A	来場者数が年々増加しており、事業効果が高まっている。今後、市民の交流や、子どもが文化に触れる機会が増加するよう事業の拡大を検討する。	好評のアートワークショップを充実する他、同日開催となっているクリエイターズマーケット、星降る映画館、草津市青少年美術展覧会と相乗効果を発揮できるよう連携を図り、一日を通じてアートを体験できる事業とする。	1,304千円
	(33)	〔再掲〕草津市国際交流協会運営費補助金	まちづくり協働課	姉妹都市等との交流や国際理解講座、国際交流イベントの開催等、市民に国際交流の機会を提供し、多文化共生に対する意識の向上を図る。	6,458千円	A	H30年度は、ポンティアック市との姉妹都市交流協定締結40周年を記念し、使節団を派遣するため。	左記事業に加え、草津市の姉妹都市であるポンティアック市（米国ミシガン州）との交流が40周年を迎えることから使節団を派遣し、ホームステイ事業を通してアメリカ社会の生活や文化に触れさらなる親交を深める事業を実施する。	6,855千円
	(36)	〔再掲〕くさつビブリオバトル	学校政策推進課	一般、大学生は1人5分、小中学生は1人3分の持ち時間で参加者にお気に入りの本を紹介し、最も読みたい1冊を聴衆が投票する書評合戦。一般の部、大学生の部、英語の部、小中学校の部の4部門で競うもの。	40千円	C	事業開始5年が経過するが、3年目からは市内小中学校すべてから出場者があつたり、それぞれの学校で校内でビブリオバトルを年間指導計画に位置付けたりする等、市内小中学校での定着が見られるため。	・英語の部に大学の留学生を含んだグローバルの部新設 ・H29から実施のUDCBKでの「毎日ビブリオ」を取り込む。 ・小中学生の部の投票方法を挙手制から記入制に変更 ・小中学生の部の開票時に教師によるビブリオバトルを実施	40千円
	49	俳句入門講座	生涯学習課	初心者を対象に、俳句の基礎を学ぶ全4回の連続講座を開催。 うち1回は、史跡草津宿本陣や草津宿街道交流館で現地学習を行い、草津の歴史や文化に触れたあとに句を詠み、講師から句評を受けた。	50千円	C	受講者による新句会が設立されており、俳句人口の拡大につながっていることから、継続して実施する。	特になし	57千円
	50	俳句ing&ウォーキング	生涯学習課	烏丸半島を（琵琶湖博物館、水生植物公園みずの森）を巡り、美しい景観も体感しながら俳句を考えていただいた後、市役所内で句会を開催した。	19千円	B	俳句入門講座受講者へのステップアップ事業として実施しているが、今後はより多くの年代の方に参加していただき、事業の効果が高められるよう景観まちあるきとの連携を図るため。	都市計画課との共催により連携を図り、景観まちあるきの要素も取り入れる。	22千円
	51	ふるさと俳句会	生涯学習課	年4回、広報くさつや地域まちづくりセンター等において投句を募集し、広報くさつにおいて優秀作を発表する。	35千円	C	広報紙の紙面を活用していることで、毎回、多数の市民から応募があり、俳句のまちづくり事業のPRにつながっていることから、継続して実施する。	特になし	37千円
	52	草津あおばな会運営費補助事業	農林水産課	①「第13回草津あおばなフェスタ」(H29.7.8) あおばな染め体験やおおばなを使った押し花作品、塗り絵体験、あおばな商品の販売など、草津市の花「あおばな」の魅力を感じていただいた。 ②啓発冊子の作成・配布や市関係施設への啓発用あおばな苗配布等により啓発を行った。(通年)	600千円	C	「草津あおばなフェスタ」について、H29年度は会場をイオンモール草津へ変更したこともあり、例年よりも多くの方に草津市の花「あおばな」を知って、体験していただいた。今後もイオンモール草津を会場とし継続して、あおばなの歴史や魅力を伝えていきたい。	①「第14回草津あおばなフェスタ」(H30.7.7) ・「青花紙」を使った京鹿の子絞体験とおおばな染めストール・ハンカチ作り(昨年に加えて京鹿の子絞り体験を実施) ②啓発冊子の改訂(通年)	600千円
	53	くさつ・歴史発見塾開催事業	草津宿街道交流館	「明治150年」にちなみ、大学教授や博物館館長らを招いて「江戸から明治へ」をテーマとする講座を5回開催した。	160千円	C	引き続き普及啓発を行っていくため。	テーマ以外は特になし	160千円
	54	草津宿街道交流館テーマ展開催事業	草津宿街道交流館	夏季テーマ展「さわってあそぶおもちゃたちー動かす郷土玩具の世界ー」、秋季テーマ展「名所をたどるー東海道五十三次のイメージー」、春季コレクション展「ちょっと古くてなつかしい 駅弁掛け紙」を開催。	830千円	C	引き続き普及啓発を行っていくため。	テーマ展は年2回とするが、他の期間に文化財保護課・生涯学習課など他課と連携した小規模な特集展示を開催し、より多彩な展示を企画する。	807千円
	55	史跡草津宿本陣 特別開館「草津宿本陣×影絵」	史跡草津宿本陣	草津納涼まつりに合わせて夜間(18:00~21:00)に特別開館し、本陣座敷部・楽座館等で影絵の演出を行った。	0	C	若年層を含めた多くの来館者が得られたため。	演出以外の内容には変更なし	0
56	本陣楽座・伝統文化に触れるワークショップ事業	史跡草津宿本陣	上方落語協会所属の落語家が出演する月一回の「本陣楽座 落語会」、年一回の「本陣楽座 落語会 特別版」、和楽器の演奏会「本陣楽座 和音会」を開催。	946千円	C	引き続き普及啓発を行っていくため。	鑑賞にとどまらず、体験・ワークショップを盛り込んだイベントを企画する。	821千円	
57	本陣四季彩々事業	史跡草津宿本陣	夏の段「書画で涼む」、秋の段「盆石で描く宿場の風景」、冬の段「年のはじめ」、春の段「梅・桃・桜」を開催。各回、美術品や生け花などの設えと、ワークショップをそれぞれ開催した。	61千円	A	チラシの発行回数を増やすなど、より積極的な広報を行っていくため。	内容およびチラシの発行回数、ワークショップに講師を招く回数を増やした。	120千円	

58	文化財保護助成事業	文化財保護課	指定文化財の所有者等に対し、文化財保存管理に係る補助を行い、当該文化財の保護継承等を図る。	1,486千円	C	文化財保護助成事業は、地域の貴重な文化財を適切に保存・活用するうえで必要であるため、今後も継続して事業を進めていく必要がある。	特になし	1,620千円
59	草津宿本陣歴史資料調査	草津宿街道交流館	-	-	-	新規	草津宿本陣に残る歴史資料の調査を実施する。3か年計画で有識者による調査委員会を設置し、調査員を置いて、資料全体の整理・調査を行う。	2,030千円
60	草津宿本陣結婚式	草津宿街道交流館	草津宿本陣での結婚式（草津市観光物産協会との共催）	0	C	引き続き普及啓発を行っていくため	特になし	0
(21)	〔再掲〕青花紙担い手セミナー	草津宿街道交流館	-	-	-	新規	市内の青花に関わる事業者や個人で構成された「草津あおばな会」とも連携し、アオバナ栽培コース・青花紙製作コースの2コースに分けてアオバナの栽培から青花紙生産までの技術を学ぶセミナーを開催する。実技だけでなく、専門家による講座も開催する。	82千円
(25)	〔再掲〕市民創作ミュージカル	文化ホール	大阪音楽大学と連携し、総合舞台芸術の基礎を学べるアートスクールを開講し、草津歌劇団3期生養成アートスクールとして実施した。歌・ダンス・芝居を基礎から学び、ミュージカルショーの公演ほか地域イベントや舞台芸術鑑賞会等に参加。スクール終了後は、オーディションを実施し、次年度につなげた。	2,496千円	A	本年度は予科生として受講生を募集しており、次年度は本科生の募集を行う。	本科生を募集し、単独公演を開催する。	5,000千円
(29)	〔再掲〕教育プログラム事業	草津宿街道交流館	江戸時代のおもちゃ作り・アオバナでバンダナ染めなど、子ども向けのワークショップを開催した。また、選任読手を招いた競技かるた大会、落語家を講師とする落語体験などを行った。	66千円	B	個人向け教育プログラム「草津宿みちくさらボ」として拡充するため	個人向け教育プログラムに「草津宿みちくさらボ」と愛称をつけ、内容・回数ともさらに充実させる。また、子どもたちに繰り返し草津宿街道交流館・史跡草津宿本陣を訪れてもらうため、ポイントカードを新たに導入する。	25千円
(31)	〔再掲〕草津シネマ塾	生涯学習課	NPO法人京都映画倶楽部へ委託し、草津の歴史文化、産業などを題材にシナリオを執筆する大人向けの「シナリオ講座」と、小学生が本物の機材を使用した映画撮影に携わる「キッズシネマ塾」を開催した。キッズシネマ塾は2日間にわたり開講し、草津川をテーマに撮影した。また、完成した映画の上映会を後日UDCBKで行った。	1,344千円	B	シナリオ講座で執筆されたシナリオや、キッズシネマ塾で作成された映画の活用が限定的であるため、上映会の会場や周知の方法など改善の余地があるから。	・キッズシネマ塾のテーマを年度ごとに検討 ・映画上映会の会場を検討（より集客できる会場で実施できないか）	1,344千円
(40)	〔再掲〕博学連携事業	草津宿街道交流館	草津宿街道交流館、史跡草津宿本陣への学校単位での見学受け入れおよびそれに伴う事前の出前授業を各学校で行った。	0	B	学校見学が一部の学校に留まるため、対象の学校が広がるよう取り組む。	子ども向け事業「草津宿みちくさらボ ポイントカード」とも連携させ、子どもたちが草津宿街道交流館・史跡草津宿本陣を訪れるきっかけとして強化する。	0
(41)	〔再掲〕草津市青少年俳句大会	生涯学習課	草津市内小学校（14校）5、6年生および中学校（市立6校、私立1校）全学年を対象とし、投句用紙を配布して、1人につき一句投句してもらう。小・中合わせて100句程度を入賞作品とし、賞状を贈る。さらに、優秀作品については記念品を贈り、10月下旬に市役所1階ロビーに展示の場を設けて発表する。	252千円	C	学校を通じて投句を募集することで、多くの子どもたちからの応募があり、ふるさと意識の醸成や国語教育の充実につながっていることから継続して実施する。	特になし	280千円
(42)	〔再掲〕草津宿場まつり	商工観光労政課	草津宿場まつり実行委員会への補助事業。時代行列、町衆熱演舞台、宿場町草津大市、行政啓発ブース、ものづくり横丁などの各種取組を実施した。	13,500千円	A	平成30年度で50回目の開催を迎えることから、記念事業の開催を検討する。	50回目の開催を記念し、前日祭を開催し、クレアホールで和装パフォーマンスコンテストおよび宿場まつりサミット、立木神社で草津能の夕べを行う。また、当日祭では、時代行列の主要役柄に宝塚歌劇団OGを起用するとともに、友好交流都市等によるパレードを行う。	15,000千円
(43)	〔再掲〕草津街あかり華あかり夢あかり	商工観光労政課	草津街あかり華あかり夢あかり実行委員会への補助事業。あかり銀河、あかりART展、陰影礼賛、トワイライトコンサートなどの各種取組を実施した。	3,300千円	C	秋の風物詩として定着しつつあるイベントで、普段とは違ったまちの景色を楽しみながら魅力を再発見し、愛着を持ってもらうことで地域の発展に繋げるため、継続して実施する。	今後、実行委員会で事業計画を検討していく。	3,300千円
(46)	〔再掲〕草津小市	都市再生課	宿場町の趣を残す路地を舞台にコンサートや、地元農家さんによる季節野菜やお米の販売、七輪焼きや甘酒ふるまいの飲食も楽しめ、琵琶湖の湖魚を使った佃煮やサンドを販売するマルシェや、しめ縄づくり、ガリ版印刷による年賀状づくりなどのワークショップを開催した。	512千円	C	昨年度が好評であり、本陣周辺エリアにおける賑わい創出に寄与するため。	特になし	500千円

A	9事業
B	13事業
C	30事業
D	2事業
E	0事業
計	54事業

新規事業:6事業

既存事業:54事業